

親子聖書日課

NO.1676 2020.11/8-14

名前

[日]弓が巧みで強大な武力を誇っていたエラムに、主はその弓を折ると言われました。自分を誇るものは何でも砕かれます。人間が憎いからではありません。終わりの日の回復を願うからです。へりくだって、主の救いを受け入れましょう。

[月]神はバビロンを「主の剣」として用い、偶像礼拝に陥ったご自分の民を滅ぼすことを許されました。しかし、主が十字架につけられた「その日・その時」民が犯した罪は完全に赦されたのです。過去の罪を恐れたり悲しむことはありません。

[火]「十字架にかかって死ぬなんて無力な神だ」と思う人がいます。しかし、主は3日目に復活して、死に勝利されました。主は死より強いので、死は終わりではありません。復活の主を信じるなら、死の陰の谷を行く時も災いを恐れませぬ。

[水]神に選ばれた「イスラエルとユダ」は、罪を犯しても神に見捨てられません。その反対に、神のものでないバビロンは、一時栄えても滅びました。神に選ばれるには、良い行いが条件ではありません。ただ罪を悔い改めて、主を信じることです。

[木]バビロンは不信仰なユダを打つ役割は果しましたが、その事によって思い上がり、主に裁かれました。主は一時この世の力を用いますが、主に従ってこそ、生涯、主に用いられます。「わが民よ、その中から出よ」罪の中から脱出しましょう。

[金]うわさほどいい加減なものはありません。悪魔はうわさを利用して、信仰をぐらつかせ、不信感を植えつけます。しかし、しっかりを御言葉に立つなら、惑わされることはありません。うわさ「噂」は、口をもって尊ぶことですから、主のことを噂しましょう。

[土]最後は哀れなユダの末日を記しますが、ここでも主の恵みが語られています。残酷なバビロン王でさえ捕らわれのヨヤキンに情けをかけ、日々の糧を与えました。主は愛する人を見捨てられません。「死ぬ日まで」霊の糧が与えられています。



| | 聖書 | 問題 | 答え |
|----------|------------------|---------------------------------|----|
| 日 | エレミヤ 49:23-39 | 主は、エラムの弓、彼らの何を折りますか。 | |
| 月 | 50:1-20 | 主が、生き残らせる人々の罪をどうするからですか。 | |
| 火 | 50:21-46 | 彼らを贖われる方はどんな方ですか。 | |
| 水 | 51:1-26 | イスラエルとユダは、万軍の主はどうされませんでしたか。 | |
| 木 | 51:27-45 | わが民よ、その中から出て、おのおの何を救うべきですか。 | |
| 金 | 51:46-64 | この地で耳にする何を恐れてはいけませんか | |
| 土 | 52:1-34 | ヨヤキンは生きている間何を常にバビロン王から支給されましたか。 | |
| 感想と祈りの課題 | | | |